

平成二十八年 度

推薦入試試験問題

(文学科 日本語日本文学専攻)

注意事項

- 1 解答は、すべて解答用紙に縦書きで記入してください。
- 2 白紙は、下書きとして使用してください。
- 3 受験票とこの問題用紙および白紙は持ち帰ってください。

課題

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

【省略】

【省略】

【省略】

(笹沼俊暁『リービ英雄——ひな」の言葉としての日本語』二〇一一年、
論創社、12〜17ページより)

注1 多数派。

注2 中国語で「先生」の意。

注3 考え方や思想の傾向。特に政治・社会思想。

注4 経済的な利益を重視する姿勢。

問一 —— 部A「リービ英雄の批判は、現在でもなお繰返し声を大にして繰り返されなくてはならない」と、筆者が主張する理由を、「リービ英雄の批判」の内容を明らかにしながら、二〇〇字以内でまとめなさい。

問二 —— 部B「日本語は、経済的功利性によるマジヨリテイーの言語が持つ求心力ゆえに海外に広まっていく」ことに対して、あなたはどのように考えますか。本文の内容を踏まえ、賛成または反対のどちらか一方の立場にたち、六〇〇字以内で述べなさい。